

Dan

Chapter 7

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

ראשה	וַחֲזוֹי	חָזָה	חֵלֶם	דָּנִיֵּאל	בְּבָבֶל	מֶלֶךְ	לְבִלְשַׁצַּר	חָרָה	בְּשָׁנַת	1
頭の	そして幻を	見た	夢を	ダニエルは	バビロンの	王	ベルシャツアルの	第一	の-年に	
H7217	H2376	H2370	H2493	H1841	H0895	H4430	H1113	H2298	H8140	
			אָמַר:	מִלִּין	רֵאשׁ	כָּתַב	חֵלְמָא	בְּאַרְיִן	מִשְׁכְּבָהּ	עַל-
			語った	言葉を	要点の	書き記した	夢を	そのとき	寝床	の-上で
			H0560	H4406	H7217	H3790	H2493	H0116	H4903	H5922

バビロンの王ベルシャツアルの元年に、ダニエルは床にあって夢を見、また脳中に幻を得たので、彼はその夢をしるして、その事の大意を述べた。

וַאֲרוֹ	לֵילָיָה	עַם-	בְּחֲזוֹי	תָּנִית	חָזָה	וַאֲמַר	דָּנִיֵּאל	עָנָה	2
そして見よ	夜	の-間に	幻の-中で	私は	見ていた	そして言った	ダニエルは	答えて	
H0718	H3916	H5974	H2376	H1934	H2370	H0560	H1841	H6032	
			רָבָא:	לְיָמָא	מְנִיחַן	שְׁמַיָּא	רוּחֵי	אַרְבַּע	
			大きな-海	に-向かつて	吹き荒れていた	天の	風が	四つの	
			H7229	H3221	H1519	H8065	H7308	H0703	

ダニエルは述べて言った、「わたしは夜の幻のうちに見た。見よ、天の四方からの風が大海をかきたてると、

דָּא:	מִן	דָּא	שָׁנָן	יָמָא	מִן	סָלְקִין	רַבְרָבִין	חַיִּין	וַאֲרְבַּע	3
他と	から	一つが	異なっていた	海	から	上がって-来た	大きな	獣が	そして四つの	
H1668	H4481	H1668	H8133	H3221	H4481	H5559	H7260	H2423	H0703	

四つの大きな獣が海からあがってきた。その形は、おのおの異なり、

דֵּי	עַד	תָּלִית	חָזָה	לָהּ	נֶשֶׁר	דֵּי	וַנְּפִין	כְּאַרְיֵה	קְדָמֵיתָא	4
に	まで	私は	見ていた	あった	鷲の	の	そして翼が	獅子の-ようで	第一のものは	
H1768	H5705	H1934	H2370		H5403	H1768	H1611	H0744	H6933	
כְּאִנְשׁ	רַגְלִין	וְעַל-	אַרְעָא	מִן	וַנְּטִילַת	נְפִיָּה	מְרִיטוֹ			
人の-ように	二本の-足で	そして-上に	地	から	そして持ち上げられた	翼が	引き抜かれた			
H0606	H7271	H5922	H0772	H4481	H5191	H1611	H4804			
					לָהּ:	יְהִיב	וּלְבָב	הַקִּימַת		
					それに	与えられた	人の	そして心が	立たされた	
						H3052	H0606	H3825	H6966	

第一のものは、ししのように、わしの翼をもっていたが、わたしが見ていると、その翼は抜きとられ、また地から起きて、人のように二本の足で立たせられ、かつ人の心が与えられた。

הַקִּמַּת	חַד	וְלִשְׁטָר-	לְרִב	דְּמִיָּה	תְּנִינָה	אַחְרֵי	חַיִּיָּה	וַאֲרוֹ	5
起こされた	一方	そしての-片側に	熊に	似ていた	第二の	もう一つ	獣が	そして見よ	
H6966	H2298	H7859	H1678	H1821	H8578	H0317	H2423	H0718	
קוּמִי	לָהּ	אָמַרְיִן	וְכֹן	(שִׁנְיָה)	בֵּין	בְּפִמָּה	עַלְעִין	וַתֵּלַת	
起き上がれ	それに	言った	そしてこう	歯の	の-間に	口の-中に	肋骨が	そして三つの	
H6966		H0560	H3652	H8128	H8128	H0997	H6433	H5967	H8532
						שְׁנַיָּא:	בְּשָׂר	אָכְלִי	
						多くの	肉を	食い尽くせ	
						H7690	H1321	H0399	

見よ、第二の獣は熊のようであった。これはそのからだの一方をあげ、その口の歯の間に、三本の肋骨をくわえていたが、これに向かって『起きあがって、多くの肉を食らえ』と言う声があった。

נָפִין	וְלֵהּ	כְּנֹמֵר	אֶחָדִי	וַאֲרִי	הָיִית	חָזָה	הִנֵּה	בְּאַחֲרָי	6
翼が	そしてそれには	豹の-ようで	もう一つの	そして見よ	私は	見ていた	これ	の-後に	
H1611		H5245	H0317	H0718	H1934	H2370	H1836	H0870	
וּשְׁלֹטֵן	לְחַיּוֹתָא	רָאשֵׁין	וְאַרְבַּעַה	(גִּבְהָהּ)	גִּבְהֵיהֶן	עַל-	עוֹף	דֵּי	אַרְבַּעַה
そして権威が	獣に	頭が	そして四つの	背中の	背中の	の-上に	鳥の	の	四つ
H7985	H2423	H7217	H0703	H1355	H1355	H5922	H5776	H1768	H0703
							לָהּ:	יְהִיב	
							それに	与えられた	
								H3052	

その後わたしが見たのは、ひょうのような獣で、その背には鳥の翼が四つあった。またこの獣には四つの頭があり、主権が与えられた。

(רְבִיעֵאָה)	[רְבִיעֵיהָ]	חַיּוֹה	וַאֲרִי	לַיְלָא	בְּחֻזֵי	הָיִית	חָזָה	הִנֵּה	בְּאַחֲרָי	7
第四の	第四の	獣が	そして見よ	夜の	幻の-中で	私は	見ていた	これ	の-後に	
H7244	H7244	H2423	H0718	H3916	H2376	H1934	H2370	H1836	H0870	
רַבְרָבִין	לָהּ	פְּרָזֶל	דֵּי	וּשְׁנַיִן	וְתִירָא	וְתַקִּיפָא	וְאַיִמְתָּנִי	דְּחִילָהּ		
大きな	それに	鉄の	の	そして歯が	非常に	そして強い	そして恐るべく	恐ろしく		
H7260		H6523	H1768	H8128	H3493	H8624	H0574	H1763		
וְתִיא	וְתִיא	רַבְסָה	(בְּרַגְלָהּ)	[בְּרַגְלֵיהָ]	וְשָׂאָרָא	וּמְדַקָּה	אֲכָלָהּ			
そしてそれは	踏みつけた	足で	足で	そして残りを	そして粉砕し	食い尽くし				
H1932	H7512	H7271	H7271	H7606	H1855	H0399				
	לָהּ:	עֶשֶׂר	וְקַרְנָיִן	קִדְמֵיהָ	דֵּי	חַיּוֹתָא	כָּל-	מִן-	מְשֻׁנָּה	
	あった	十	そして角が	以前の	の	獣	すべての	から	異なっていた	
		H6236	H7162	H6925	H1768	H2423	H3606	H4481	H8133	

その後わたしが夜の幻のうちに見た第四の獣は、恐ろしい、ものすごい、非常に強いもので、大きな鉄の歯があり、食らい、かつ、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。これは、その前に出たすべての獣と違って、十の角を持っていた。

[בִּינְיָהוּן]	סְלֶקַת	זַעֲרָה	אֶחָדִי	קַרְן	וְאַלֹ	בְּקַרְנֵיָא	הָיִית	מְשַׁתְּכָל	8
間に	生えて-来た	小さな	もう一つの	角が	そして見よ	角を	私は	見つめていた	
H0997	H5559	H2192	H0317	H7162	H0431	H7162	H1934	H7920	
מִן-	(אֲתַעֲקְרָהּ)	[אֲתַעֲקְרוּן]	קִדְמֵיָא	קַרְנֵיָא	מִן-	וְתִלָּת	(בִּינְיָהוּן)		
の-前から	引き抜かれた	引き抜かれた	以前の	角が	の	そして三つの	それらの-間に		
H4481	H6132	H6132	H6933	H7162	H4481	H8532	H0997		
וּפִם	דָּא	בְּקַרְנָא	אֲנָשָׂא	כְּעֵינֵי	עֵינִין	וְאַלֹ	(קִדְמָהּ)	[קִדְמֵיהָ]	
そして口が	この	の-角に	人の	の-目の-ような	目が	そして見よ	その-前から	その-前から	
H6433	H1668	H7162	H0606	H5870	H5870	H0431	H6925	H6925	
							רַבְרָבִין:	מִמְלִלָּה	
							大きなことを	語っていた	
							H7260	H4449	

わたしが、その角を注意して見ていると、その中に、また一つの小さい角が出てきたが、この小さい角のために、さきの角のうち三つがその根から抜け落ちた。見よ、この小さい角には、人の目のような目があり、また大きな事を語る口があった。

וּלְבוּשָׁה יָתֵב יְיָמִין וְעֵתִיק רְמִיו כְּרִסְוֹן דַּי עַד הַיּוֹת תָּזַה
 その-衣は 座した 者が そして日の-老いたる 据えられた 王座が に まで 私は 見ていた
[H3831](#) [H3488](#) [H3118](#) [H6268](#) [H7412](#) [H3764](#) [H1768](#) [H5705](#) [H1934](#) [H2370](#)

נֹר דַּי- שְׂבִיבִין כְּרִסְיָה נָקֵא כְעֵמֶר רֵאשָׁה וְשֵׁעַר תֹּנֵר כְּתֹלֵג
 火 の 炎の その-王座は 清く 羊毛の-ように 頭の そして髪は 白く 雪の-ように
[H5135](#) [H1768](#) [H7631](#) [H3764](#) [H5343](#) [H6015](#) [H7217](#) [H8177](#) [H2358](#) [H8517](#)

נִלְגְלוּהִי נֹר דָּלֵק:
 その-車輪は 火の 燃える
[H1815](#) [H5135](#) [H1535](#)

わたしが見ていると、もろもろのみ座が設けられて、日の老いたる者が座しておられた。その衣は雪のように白く、頭の毛は混じりもののない羊毛のようであった。そのみ座は火の炎であり、その車輪は燃える火であった。

נְתַר דַּי- נֹר נָגַד וְנִבְקַ מִן- קְדָמוּהִי אֶלֶף [אלפים] (אלפיו)
 川が の 火の 流れ として出ていた から 御前 千の 幾千が 幾千が
[H5103](#) [H1768](#) [H5135](#) [H5047](#) [H5312](#) [H4481](#) [H6925](#) [H0506](#) [H0506](#)

יִשְׁמְשִׁינָה וְרִבּוֹ וְרִבּוֹן (רַבְבּוֹן) קְדָמוּהִי יְקוּמוּן דִּינָא יָתֵב וְסַפְרִין
 仕えていた そして万の 幾万が 幾万が 御前に 立っていた 裁きが 開かれ そして書物が
[H8120](#) [H7240](#) [H7240](#) [H7240](#) [H6925](#) [H6966](#) [H1780](#) [H3488](#) [H5609](#)

פְּתִיחוּ: פְּתִיחוּ
 開かれた
[H6606](#)

彼の前から、ひと筋の火の流れが出てきた。彼に仕える者は千々、彼の前にはべる者は万々、審判を行う者はその席に着き、かすかすの書き物が開かれた。

תָּזַה תָּזַה הַיּוֹת בְּאַדְנִין מִן- קֶל מְלִיאָ רַבְרַבְתָּא דַּי קַרְנָא מְמַלְלָה
 見ていた 見ていた 私は そのとき の-ゆえに 声 言葉の 大きな の 角が 語る
[H2370](#) [H2370](#) [H1934](#) [H0116](#) [H4481](#) [H7032](#) [H4406](#) [H7260](#) [H1768](#) [H7162](#) [H4449](#)

הַיּוֹת עַד דַּי קְטִילָת חַיּוֹתָא וְהַיּוֹבֵד גְּשָׁמָה וַיהִיבַת לִיקְרַת
 私は まで に 獣は 殺された そして滅ぼされた その-体は そして渡された 焼く-ために
[H1934](#) [H5705](#) [H1768](#) [H6992](#) [H2423](#) [H0007](#) [H1655](#) [H3052](#) [H3346](#)

אֶשָׁא:
 火で
[H0785](#)

わたしは、その角の語る大いなる言葉の音がするので見ていたが、わたしが見ている間にその獣は殺され、そのからだはそこなわれて、燃える火に投げ入れられた。

וְשָׂאֵר וְשָׂאֵר חַיּוֹתָא הָעָדִיו שְׁלֹטְנָהוּן וְאַרְכָּה בְּחַיִּין יְהִיבַת לְהוֹן
 そして残りの 獣たちは 取り去られた その-権威が しかし延長が 命の 与えられた 彼らに
[H7606](#) [H2423](#) [H5709](#) [H7985](#) [H0754](#) [H2417](#) [H3052](#)

עַד זְמַן וְעָדִין:
 まで 時と 季節
[H5705](#) [H2166](#) [H5732](#)

その他の獣はその主権を奪われたが、その命は、時と季節の来るまで延ばされた。

תָּזַה תָּזַה הַיּוֹת בְּחַזְוִין לַיְלָא וְאַרְוִי עִם- עֲנַנִּי שְׁמַיָּא כְּבַר אֲנָשׁ
 見ていた 見ていた 私は 幻の-中で 夜のと-共に と-共に 雲の 天の の-ような 人の-子が
[H2370](#) [H1934](#) [H2376](#) [H3916](#) [H0718](#) [H5974](#) [H6050](#) [H8065](#) [H1247](#) [H0606](#)

אָתָּה הָתָּה וְעַד- עֵתִיק וְיֻמְיָא מְטָה וְקְדָמוּהִי תְקַרְבִּיהִי:
 来ていた のだった そしてまで 日の-老いたる 者の-もとに 至り そして御前に 導かれた
[H0858](#) [H1934](#) [H5705](#) [H6268](#) [H3118](#) [H4291](#) [H6925](#) [H7127](#)

わたしはまた夜の幻のうちに見ていると、見よ、人の子のような者が、天の雲に乗ってきて、日の老いたる者のもとに来ると、その前に導かれた。

וְלִשְׁנָא 14
言語の-者が 国と 民と そしてすべての 王国が 栄光と 主権と 与えられた そして彼に
H3961 H0524 H5972 H3606 H4437 H3367 H7985 H3052
וְלִשְׁנָא
の そしてその-王国は 過ぎ去らない ない の 永遠 主権の その-主権は 仕えた 彼に
H1768 H4437 H5709 H3809 H1768 H5957 H7985 H7985 H6399
וְלִשְׁנָא
— 滅びない ない
H2255 H3809

彼に主権と栄光と国とを賜い、諸民、諸族、諸国語の者を彼に仕えさせた。その主権は永遠の主権であって、なくなることがなく、その国は滅びることがない。

וְלִשְׁנָא 15
私を-恐れさせた 頭の そして幻が 体 の-中で ダニエルは 私 霊が 悩まされた
H0927 H7217 H2376 H5085 H1459 H1841 H7308 H3735

そこで、われダニエル、わがうちなる霊は憂え、わが脳中の幻は、わたしを悩ましたので、

וְלִשְׁנָא 16
について 彼から 求めた そして確かなことを 立っている-者の の 一人 の-もとに 近づいた
H5922 H4481 H1156 H3330 H6966 H4481 H2298 H5922 H7127
וְלִשְׁנָא
知らせた 言葉の そして解き明かしを 私に そして告げた これ すべて
H3046 H4406 H6591 H0560 H1836 H3606

わたしは、そこに立っている者のひとりに近寄って、このすべての事の真意を尋ねた。するとその者は、わたしにこの事の解き明かしを告げ知らせた。

וְלִשְׁנָא 17
地 から 起る 王が 四人の 四つ それらは の 大きな 獣は これらの
H0772 H4481 H6966 H4430 H0703 H0703 H1768 H7260 H2423 H0459

『この四つの大きな獣は、地に起らんとする四人の王である。』

וְלִשְׁנָא 18
永遠 まで 王国を そして所有する いと高さ-方の 聖なる-者たちが 王国を そして受ける
H5957 H5705 H4437 H2631 H5946 H6922 H4437 H6902
וְלִשְׁנָא
永遠に 永遠の そしてまで
H5957 H5957 H5705

しかしついに、いと高き者の聖徒が国を受け、永遠にその国を保って、世々かぎりなく続く』。

וְלִשְׁנָא 19
異なっていた であった その 第四の 獣の について 確かめることを 望んだ そのとき
H8133 H1934 H1768 H7244 H2423 H5922 H3321 H6634 H0116
וְלִשְׁנָא
の そして爪は 鉄の の 歯は 歯は 非常に 恐ろしく すべて すべて から
H1768 H2953 H6523 H1768 H8128 H8128 H3493 H1763 H3605 H3605 H4481
וְלִשְׁנָא
踏みつけた 足で そして残りを 粉碎し 食い尽くし 青銅の
H7512 H7271 H7606 H1855 H0399 H5174

そこでわたしは、さらに第四の獣の真意を知ろうとした。その獣は他の獣と異なって、はなはだ恐ろしく、その歯は鉄、そのつめは青銅であって、食らい、かつ、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。

סִלְקַת	וְיִ	וְאַחֲרָי	בְּרֹאשָׁהּ	וְיִ	עֶשְׂרִי	קַרְנָיָא	וְעַל-	20
生えて-来た	の	そしてもう一つの	その-頭にある	の	十の	角	そしてについて	
H5559	H1768	H0317	H7217	H1768	H6236	H7162	H5922	
וְנִפְלוּ	וְנִפְלָהּ	מִן-	קִדְמֶיהָ	(קִדְמֶיהָ)	תְּלַת	וְקַרְנָא	דָּבָן	
そして倒れた	そして倒れた	の	その-前から	その-前から	三つが	そしてその-角には	すなわち	
H5308	H5308	H4481	H6925	H6925	H8532	H7162	H1797	
וְעֵינָיו	לָהּ	וּפִּם	מְמַלְלִי	רַבְרָבִין	וְחִזְוֶהּ	רַב	מִן-	
そして目が	あり	そして口が	語っていた	大きなことを	そしてその-外見は	大きかった	より	
H5870	H6433	H4449	H7260	H2376	H7229	H4481		
	חֲבֵרְתָהּ:							
	仲間							
	H2273							

この獣の頭には、十の角があったが、そのほかに一つの角が出てきたので、この角のために、三つの角が抜け落ちた。この角には目があり、また大きな事を語る口があつて、その形は、その同類のものよりも大きく見えた。

קִדְיָשִׁין	עִם-	קָרַב	עֲבָדָהּ	דָּבָן	וְקַרְנָא	תְּנֵה	תְּנֵה	21
聖なる-者たちに	と	戦いを	行っていた	すなわち	そしてその-角は	私は	見ていた	
H6922	H5974	H7129	H5648	H1797	H7162	H1934	H2370	
						וְהָיוּ:	וְנִכְלָהּ	
						彼らに	そして勝っていた	
						H3202		

わたしが見ていると、この角は聖徒と戦って、彼らに勝ったが、

לְקַדְיָשִׁין	יָהֵב	וְדִינָא	וְזִמְיָא	עֲתִיק	אַתָּה	דְּי-	עַד	22
の-聖なる-者たちに	与えられた	そして裁きが	者が	日の-老いたる	来た	に	まで	
H6922	H3052	H1780	H3118	H6268	H0858	H1768	H5705	
	וְקַדְיָשִׁין:	הַחֲסוּנִי	וּמְלְכוּתָא	מְטָה	וְזִמְנָא	עֲלִיּוֹנִין		
	聖なる-者たちが	所有した	そして王国を	来た	そして時が	いと高き-方の		
	H6922	H2631	H4437	H4291	H2166	H5946		

ついに日の老いたる者がきて、いと高き者の聖徒のために審判をおこなった。そしてその時がきて、この聖徒たちは国を受けた。

תְּשָׁנָא	דְּי	בְּאַרְעָא	תְּהֵוּנָא	(רַבִּיעֵאָה)	[רַבִּיעֵאָה]	מְלְכוּ	רַבִּיעֵיָתָא	חִוְיָתָא	אַמְרַ	כֵּן	23
異なる	それは	地上に	である	第四の	第四の	王国が	第四の	獣は	言った	こう	
H8133	H1768	H0772	H1934	H7244	H7244	H4437	H7244	H2423	H0560	H3652	
	וְתִדְקְנֶהּ:	וְתִדְוִשְׁנָהּ	אַרְעָא	כָּל-	וְתֹאכַל	מְלְכוּתָא	כָּל-	מִן-			
	そして粉碎する	そして踏みにじり	地を	すべての	そして食い尽くす	王国	すべての	から			
	H1855	H1759	H0772	H3606	H0399	H4437	H3606	H4481			

彼はこう言った、『第四の獣は地上の第四の国である。これはすべての国と異なって、全世界を併合し、これを踏みつけ、かつ打ち砕く。』

יָקִים	וְאַחֲרָיו	יָקִים	מְלְכִין	עֶשְׂרִי	מְלְכוּתָהּ	מִנְּהָ	עֶשְׂרִי	וְקַרְנָיָא	24
起こる	そしてもう一人が	起こる	王が	十人の	王国の	その-中から	十は	そして角	
H6966	H0321	H6966	H4430	H6236	H4437	H4481	H6236	H7162	
	וְהִשְׁפַּל:	מְלְכִין	וְתִלְתָּהּ	קִדְמָא	מִן-	יִשְׁנָא	וְהוּא	אַחֲרֵיהֶוּן	
	倒す	王を	そして三人の	以前の-者と	から	異なる	そして彼は	彼らの-後に	
	H8214	H4430	H8532	H6933	H4481	H8133	H1932	H0311	

十の角はこの国から起る十人の王である。その後にもたひとりの王が起る。彼は先の者と異なり、かつ、その三人の王を倒す。

	וּלְקַדְּשֵׁי	וּמְלִיךְ	25						
	そしての-聖なる-者たちを	語り	いと高き-方に	いと高き-方	いと高き-方	に-逆らい	そして言葉を		
	H6922	H4449	H5943	H5943	H5943	H6655	H4406		
עַד-	בְּיָדָהּ	וַיִּתְּנֶהָ	וְדָת	זְמַנּוֹן	לְהַשְׁנִיחָהּ	וַיִּסְבֵּר	וַיִּבְלֵא	עַל־יּוֹנִין	
まで	その-手に	そして渡される	法を	時と	変えることを	そして企てる	苦しめる	いと高き-方の	
H5705	H3028	H3052	H1882	H2166	H8133	H5452	H1080	H5946	
							וּפְלֵג	וְעַד־יּוֹנִין	עַד־
							時	半-	二時と
							H5732	H6387	H5732
								עַד־	一時と
								H5732	H5732

彼は、いと高き者に敵して言葉を出し、かつ、いと高き者の聖徒を悩ます。彼はまた時と律法とを変えようと望む。聖徒はひと時と、ふた時と、半時の間、彼の手にわたされる。

סוּפָא:	עַד-	וּלְהוֹבִיחָהּ	לְהַשְׁמִיחָהּ	וַיִּהְיֶה	וּשְׁלֹטְנָהּ	וַיִּתֵּן	וַיִּדְּיֵנָהּ	26
終わり	まで	そして絶やすために	滅ぼし	取り去る	そしてその-権威を	開かれ	そして裁きが	
H5491	H5705	H0007	H8046	H5709	H7985	H3488	H1780	

しかし審判が行われ、彼の主権は奪われて、永遠に滅び絶やされ、

לְעַם	וַיְהִיבֵת	שָׁמַיָא	כָּל-	תַּחְתּוֹת	מַלְכוּת	דְּ	וּרְבוּתָא	וּשְׁלֹטְנָא	וּמַלְכוּתָהּ	27
の-民に	与えられる	天	すべての	の-下の	王国の	の	偉大さが	権威と	そして王国と	
H5972	H3052	H8065	H3606	H8460	H4437	H1768	H7238	H7985	H4437	
לָהּ	שְׁלֹטְנָא	וְכָל	עָלַם	מַלְכוּת	מַלְכוּתָהּ	עַל־יּוֹנִין	קַדְּשֵׁי			
彼に	権威ある-者たちが	そしてすべての	永遠	王国の	その-王国は	いと高き-方の	聖なる-者たち			
H7985	H3606	H3606	H5957	H4437	H4437	H5946	H6922			
							וַיִּשְׁתַּמְעוּן:	וַיִּפְּלוּ		
							そして従う	仕え		
							H8086	H6399		

国と主権と全天下の国々の権威とは、いと高き者の聖徒たる民に与えられる。彼らの国は永遠の国であって、諸国の者はみな彼らに仕え、かつ従う』。

רְעִיּוֹנֵי	וּשְׁנֵי	דְּנִיְאֵל	אַנְהּ	מִלְתָּא	דְּ	סוּפָא	כְּ	עַד-	28
思いが	大いに	ダニエルは	私	言葉の	の	終わりで	ここまでが	ここまでが	
H7476	H7690	H1841		H4406	H1768	H5491	H3542	H5705	
פ	וַנְּטַרְתָּ:	בְּלִבִּי	וּמִלְתָּא	עָלֵי	וַיִּשְׁתַּנּוֹן	וַיִּזְוֵי	וַיִּבְהַלְנִי		
一	留めた	心の中に	しかし言葉を	私の	変わった	そして顔色が	私を-恐れさせた		
	H5202	H3821	H4406	H5922	H8133	H2122	H0927		

その事はここで終った。われダニエルは、これを思いまわして、非常に悩み、顔色も変わった。しかし、わたしはこの事を心に留めた」。